

待機児童解消特別事業(たまち保育室)【港区】

事業紹介

緊急雇用創出事業として
待機児童解消特別事業
に従事(たまち保育室)

事業者から一言。。。。

保育理念である「あったかい心をもつ子に育てる」を大切に、私たちは子どもたちだけではなく、この「あったかい心」で全ての保育士さんに向き合えるような職場作りを目指しています。

長く安心して働ける職場環境と「保育士」としてではなく一人の「社会人」として視野を広げられるようなサポート体制を作っていきます。

子どもの成長とともに保育士さんの成長を深く見守っていきます。



(株)小学館集英社プロダクション
HAS総合保育事業部 課長 中尾氏

事業概要

保育園待機児童の解消のため、認可保育所に入所できない児童を保育する港区緊急暫定保育施設を設置しています。(緊急暫定保育施設とは認可保育園と同等の基準で保育を行う、開設期間を設けて設置された無認可の保育施設です。) 港区では平成23年2月現在、たまち保育室を含め5室を開設しています。

委託先

(株)小学館集英社プロダクション
※「港区たまち保育室」の運営を委託

雇用創出数 (平成22年度)

74名
(H23.1.1現在)

運営事業費

19,006万円(平成22年度)

事業の開始

平成22年6月

港区たまち保育室



緊急暫定保育室設置に伴う待機児童数の推移

○緊急暫定保育施設

平成19年10月
東麻布保育室開設(定員133名)※
平成20年2月
札の辻保育室開設(定員102名)
平成22年2月
たかはま保育室開設(定員126名)※
平成22年4月
青南保育室開設(定員100名)
平成22年6月
たまち保育室開設(定員144名)※
※平成23年度に定員を拡大予定

○待機児童数

平成21年12月1日現在 363人
↓
平成22年4月1日現在 274人
↓
平成22年12月1日現在 252人
↓
平成23年1月1日現在 315人

※平成23年5月
桂坂保育室開設を予定(定員250名)

港区たまち保育室 スタッフインタビュー



たまち保育室 保育士 高橋さん



たまち保育室にて保育中の様子

ー保育士を選んだ理由は何でしょうか？

子どもが大好き＝保育士さんになりたい！と幼い頃からただ単純にそう思っていました。幼い頃の夢に向かってきたことが現実になり、今現場での実践となったこと、資格を取ること、持つことの大切さや意義についても「良かった」と実感しています。また、一番の理由は、子どもの育つ姿や成長していく過程を一緒に見守れることです。

ー就業当時の仕事内容は、どういったことをしていたのでしょうか？

「よーいドン！」で始まった私の保育士としての仕事は、全てが初めてのことばかりでした。オムツ替えや調乳、沐浴など一つ一つのことが初めてであり、私の仕事の第一歩でした。

ー自分なりに努力したことや、正社員となって変わったことがあれば教えてください。

自分なりに努力したことは“積極的に何度も繰り返し行ったこと”です。調乳、オムツ替え、沐浴、毎日行うことだからこそ、繰り返し行うことで少しずつ出来るようになっていきました。そして正社員として全ての業務に対して責任を感じ、使命感を持って働いています。

ー最後に、一言お願いします。

今まで出来なかったこと、知らなかったことが少しずつ出来るようになったり、知っていくことに喜びを感じています。今後はもっと知識を深めて子どもたちと関わっていきたいです。

たまち保育室 高橋園長



ー正社員に採用したいと思った決め手や、人材が定着するような心がけなどを教えてください。

本人の「元気さ」

仕事をする上で、まず第一は心身共に元気であることが大切です。

選考においては数多くの採用者の目を通して人物を見極め、経験や知識以上に人柄重視で採用しています。

また、保育所運営は半永久的に事業を行うことが必要なので、雇用形態は正社員を基本としており、古い表現ですが、終身雇用によりじっくりと育ててもらおうよう心がけております。

その甲斐あって、職員はみな、コツコツと目標を目指し、一步一步、確実に成長してくれています。